

目標達成計画

作成日：平成29年3月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束の禁止対象行為をロールプレイング等の研修により意識づけを共有し、常に身体拘束は駄目というケアを期待したい。	身体拘束がなぜ駄目なのかを理解し専門的ケアを行う。	日々の支援方法について話し合い現状を理解する。話し合いの中で抽出された課題について研修等に参加し会議等で情報伝達しながら身体拘束の禁止対象行為を学ぶ。	12ヶ月
2	33	看取りに関する指針は、摂食拒否等具体的な事案を考えて、マニュアル化で対応する支援を共有し医療機関との協力関係を構築して、本人、家族との話し合いに備える取り組みが期待される。	重度化や終末期に向けた支援ができる体制づくりのために研修等へ参加し理解を深める。	研修等に参加し看取りができる体制づくりについて医療、介護支援について話し合う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。